

1 単元 球技 (ゴール型)

2 目標

- 安定したボール操作と連携した動きによって空間に走り込んだり、作り出したりして相手との攻防を展開することができるようにする。(技能)
- バスケットボールに積極的に取り組むとともに、フェアなプレーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。(態度)
- バスケットボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方のポイントなどを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫することができるようにする。(知識、思考・判断)

3 単元について

(1) 教材観

バスケットボールは、相対する2チームが1つのボールを媒介にして、個人的・集団的技能による攻防を展開し、限られた時間内に相手ゴールに多くシュートを決めることによって、勝敗を競うスポーツである。攻防の切り替えが早く、その中でシュートを決めることに喜びを感じることができる。また、技能が高まってくると、相手の動きを読んでプレーするという駆け引きが楽しくなってくる運動である。

(2) 生徒の実態

生徒の意識調査の結果 (1年男子\*人) 平成\*年\*月\*日実施

	はい	ふつう	いいえ
1 体育が好き	*人	*人	*人
2 球技のボール操作が得意である	*人	*人	*人
3 分からないことを友達に尋ねようとしている	*人	*人	*人
4 友達に聞かれたら分かるまで教えることができる	*人	*人	*人

第1学年生徒は、アンケート調査の結果から運動が好きな生徒が多い。しかし、ボールを操作したり、用具を操作したりすることを苦手としている生徒もいる。また、個人的技能の向上や空間を作り出す動きなどを課題と感じている生徒もいて、その課題を解決するために友達に尋ねたり、教え合ったりすることを意識している生徒は少ない。これまでの学習の中で、友達と関わり合いを通して、自己の技能を向上させようとする意識が十分でなかったと考えられる。

(3) 指導観

本単元では、ボールを媒介とし、ペア学習で様々な動きに挑戦をさせていき個人的技能の向上を図る。グループ活動では、身近な遊び「鬼ごっこ」を主体としたミニゲームを行い、身近な遊びの中にバスケットボールの個人技術(パス・ドリブル)を取り入れる。その活動の中でフェイントや相手との距離感などの駆け引きをするよう助言する。また、チームでの話し合い活動を充実させるため学習カードや提示資料を工夫し、グループで作戦を立てさせ、相手と攻防をする楽しさを味わわせる。以上のように、ペアやグループ学習を通して基本的な技能が高まってくると、相手の動きを読んでプレイするという駆け引きが楽しくなり、生徒の興味関心が高まる。そして、生徒が友達と協力して関わり合いながら活動することで運動する喜びを感じ、さらに基本的な技能の向上を図ることができると思う。

4 単元の評価規準

	運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の 技能	運動についての 知識・理解
学習活動に即した評価規準	① バスケットボールの学習に◎積極的に取り組もうとしている。(観察) ② フェアプレイを◎常に守ろうとしている。(観察) ③ 課題解決に向けた話し合い活動に◎積極的に発言したり、同意したりすることができる。(観察)	① 技術的な課題や有効な練習方法について、自分の考えを◎分かりやすく書き出している。(学習カード) ② ボール操作やボールを持たない動きなどの技術を身に付けるための運動の行い方の◎ポイントを分析している。(学習カード)	① ドリブルやパスの基本的な技能を身に付け◎正確にボールを操作することができる。(観察) ② 空間を作り出す動きや空間に走り込んで◎ボールをもらう動きができる。(観察)	① 技術の名称やゲームの行い方やルールなどを◎具体例を挙げ書き出している。(観察・学習カード) ② 試合運営やルール・審判方法について◎正しく理解している。(観察)

◎下線は十分に満足できる姿

5 指導と評価の計画（10時間扱い）本時は○印

段階	時間	学習のねらい、学習活動	評価の基準				評価方法
			関意態	思考判断	技能	知識理解	
はじめ	1	○運動の特性や学習のねらい、進め方を理解する。 ○学習カードや資料の使い方を知る。 ○ボール操作についての練習の仕方を理解する。	①				観察 学習 カード
	50 × 1	2					
なか 1	3	○基本的な技能を高めながら、仲間と協力して主体的に学習に取り組むことができるようにする。 1 本時の学習内容を確認する。 2 準備運動、ペアでスキルアップドリルをする。 3 ドリルゲーム「ラリー」を行う。 ①1対1 ②2対2 4 ゲーム「鬼ごっこ」の説明をする。 5 次時の練習内容を考える。	1		①		観察 学習 カード
なか 2	4	○自己やチームの課題を意識し、仲間と協力してプレイすることができるようにする。					
	5	1 本時の学習内容を確認する。 2 準備運動、ペアでスキルアップドリルをする。 3 ドリルゲーム「ラリー」を行う。 ①1対1 ②2対2	② 学習 カード				
	⑥	4 チームで作戦を話し合う。 5 ゲーム「鬼ごっこ」を行う。 6 学習カードを記入し、振り返りを行う。チームで話し合いを行い、新たな課題を見つけ、次時の練習計画を立てる。	② 学習 カード				
7	※7時間目に南中4×4カップのルール説明をする。	2	② 学習 カード	2			観察 学習 カード
8	○身に付けた技能を生かして、チームにおける自分の役割を理解しながらプレイすることができるようにする。	②					
まとめ	9	1 本時の学習内容を確認する。 2 ゲーム「鬼ごっこ」を行う。 3 リーグ戦「南中4×4カップ」を行う。	2				観察 学習 カード
	10	4 チームで話し合いを行い、新たな課題を見つけ、次時の練習計画を立てる。 5 学習カードを記入し、振り返りを行う。					

6 本時の学習（6/10時間）

(1) 目標

○ドリブルやパスの基本的な技能を身に付け正確にボールを操作することができる。

(運動の技能)

(2) 準備・資料

学習カード、ボール、ビブス、タイマー、掲示資料

(3) 展開

学習内容・活動	指導上の留意点	評価の観点, 方法
<p>1 整列, あいさつをする。</p> <p>2 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○自己やチームの課題を意識し, 仲間と協力してプレーすることができるようにする。</p> </div> <p>3 準備運動と体ほぐしの趣旨を生かした運動をする。</p> <p>(1) スキルアップドリル</p> <p>(2) ドリルゲーム「ラリー」</p> <p style="margin-left: 20px;">① 1対1</p> <p style="margin-left: 20px;">② 2対2</p> <p>4 チームで作戦を話し合う。</p> <p>5 ゲーム「鬼ごっこ」を行う。</p> <p style="margin-left: 20px;">1 P ボール (両手で掴む) でタッチ。</p> <p style="margin-left: 20px;">2 P ドリブルからボール (両手で掴む) でタッチ。</p> <p style="margin-left: 20px;">3 P ボール2つ (ドリブル・パス有)。</p> <p style="margin-left: 20px;">4 P ボール1つ (パスのみ有)。</p> <p>6 後片付けと整理運動をする。</p> <p>7 学習活動の反省と次時の課題を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の健康観察をする。</li> <li>・授業の約束事を確認し, 仲間と協力して安全に留意し, 繰り返し練習することができるように助言する。</li> <li>・バスケットボールに使う筋肉を解することができる体ほぐし運動を行わせて, 主運動でけがをしないよう声掛けをする。</li> <li>・友人と声をかけあい確認し合いながら取り組むように助言する。</li> <li>□ドリブルやパスの動作が身に付いていない生徒には, ペアの生徒に声をかけてもらったり, 教師が支援したりする。</li> <li>・学習カードの作戦欄を用いて動きの確認をするとともに, チームの目標, 作戦を立てさせる。</li> <li>・話合いが停滞しているチームには, 学習カードの作戦欄に動き方を書いたり, 実際に動いて確認したりするよう助言する。</li> <li>・チームワークを大切に, みんなでサポートし合いながらゲームを楽しめるよう助言する。</li> <li>□空間を作り出す動きや空間に走り込んでボールをもらう動き方が分からない生徒には, 学習カードに書いた動き方例を再確認させたり, 実際にゆっくり動いてみたりするよう助言する。</li> <li>・本時と目標にそったまとめを学習カードに記入するように促す。</li> <li>・体調や怪我の有無を確認し, 健康状況を確認する。</li> <li>・うまくいったプレーやどうすればうまくいくのかを話し合わせ, ボールを持たない人はどのように動いたらよいか学習カードに記入させる。</li> </ul>	<p>〈技能①〉</p> <p>ドリブルやパスの基本的な技能を身に付け◎<u>正確</u>にボールを操作することができる。 (観察)</p>

□は努力を要する状況にある生徒への手立て